

困っている人を見かけたら 「何かお困りですか？」と声を掛けてください。

- ・ 高い棚のもの、奥行き深いところや足元のものを取れない人がいます。

(車いすユーザー、難病、肢体不自由の人など)

手の届かないもの、取ることができないときは取ってください。かごを膝の上に置けない場合は一緒に買い物を手伝っていただくと助かります。



- ・ 音声だけではコミュニケーションが取りにくい人がいます。

(耳が聞こえない人、耳が聞こえにくい人など)

耳が聞こえない人の程度は様々です。大きな声で話すよりも文字やイラストなど視覚的にわかるようにしてください。音声文字変換アプリ、コミュニケーション支援ボード*も便利です。耳マーク(裏面)があると安心して買い物ができます。



大きな声ではっきりと話すことで聞き取ることが出来る人もいます。様子をみて対応して下さい。

- ・ 自分のほしいものを探することが難しい人がいます。

(目が見えない人、目が見えにくい人など)

希望する商品まで誘導して下さるときは、視覚障害のある人に誘導者の肩か肘の少し上に手を添えてもらってください。誘導者が視覚障害のある人の腕を引くのは不安に感じます。商品の説明は色、大きさ、形などを具体的に。食品は賞味期限も伝えてください。



- ・ 困っていてもうまく伝えることができない人がいます。

(知的障害・発達障害のある人・お年寄り・言語障害のある人など)

声をかけるときは、顔を見て 穏やかに ゆっくりと 声をかけてください。聞かれたことを伝えるときはゆっくり話を聞いて具体的に話してください。身振りやイラストでの会話、筆談の方が伝わりやすいことがあります。コミュニケーション支援ボード*も活用できます。支払い等に手間取ることもありますが見守ってください。また紙幣や硬貨の区別がつかないときは声を掛けてください。

*コミュニケーション支援ボードはネットで 検索できます。

盲導犬、介助犬、聴導犬などのほじょ犬と入店する方もいます。「身体障害者補助犬法」に基づき訓練・認定されており、ユーザーは衛生・行動管理に責任を持って社会参加しています。受け入れる施設側は、法律に基づき、ほじょ犬の同伴を受け入れる義務があります。(厚生労働省ホームページ)

◇このような対応があると安心です◇

入口等に応じたような張り紙を貼ってください。



お手伝いが
必要な方は
お申し出
ください。



ヘルプマークを身につけて
いる方が困っていたら、援
助や配慮をお願いします。

視覚に障害のある人、車いすユー
ザーの方等には、必要に応じ、移
動を手伝ってください。

耳マークを置いてください。

耳の不自由な方は
筆談しますので
お申し出下さい



聞こえが不自由なことを表す
「耳マーク」です

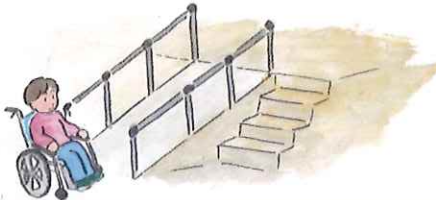
コミュニケーションが取りにくい方等に、
イラスト・コミュニケーション支援ボードを
活用してください。



手すりがあると安心して
歩くことができます。



スロープがあると車いすでも
入ることができます。



入口に段差があっても声を掛けて
注文を取ってください。



【災害時のお願い】

聴覚に障害のある人、内部疾患のある人など、外見では障害がわからない人もいます。

ヘルプマークをつけている人、困っている人がいたら声を掛けてください。

地震、火事などの災害時

*聴覚に障害のある人は「聞こえない」または「聞こえにくい」ため、何が起きたか、わかりません。

⇒筆談・身振り・手話で教えてください。

*視覚に障害のある人は「目が見えない」または「見えにくい」ため、避難場所がわかりません。

⇒安全なところに誘導してください。

*知的障害や発達障害、精神障害、高次脳機能障害のある人、お年寄りは動揺してパニックになる場合があります。

⇒状況をゆっくりと説明し、一緒に避難してください。

問合せ先：立川市福祉保健部 障害福祉課

電話：042-523-2111 内線 1520 メール：shougaifukushi@city.tachikawa.lg.jp

立川市委託事業“市民等啓発事業” 受託者 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会

イラスト：westC（耳マーク、ヘルプマーク除く）